

うらわまこと (舞踊評論家)
Urawa Makoto

森下洋子の トゥシューズ

トゥシューズが考案されたのは、今から約200年前のフランス。これによってバレリーナたちは、重力から解放され、さらに高みを目指すことができるようになった。その後、さまざまな工夫が重ねられ、バレリーナにとっては、単なる用具でなく、身体の一部ともいえる存在になっている。もちろん、これをわがものとするには、足の爪を割り、まめをつぶすという、文字通り血のにじむ努力が求められる。

わが国が世界に誇るバレリーナ、森下洋子。彼女とトゥシューズの付き合いは60年を超える。彼女ほどこの意味を知り尽くしているものはいない。たとえば、『白鳥の湖』の情緒に満ちたオデットと妖艶なオディールを踊り分ける時も、ロミオにたいするジュリエットの思いを演じ上げる時も、それはつねに彼女とともにあり、彼女の意のままに観客に感動を与え続けている。



協力:公益財団法人松山バレエ団

Number:019

Toe Shoes

矢内康公

(株式会社キング関口台スタジオ録音部・
マスタリングエンジニア)
Yanai Yasuhiro

ザ・ピーナッツの マスターテープ

CDよりも格段に良い音質で聴くことができる「ハイレゾ」。この1967(昭和42)年に録音されたマスターテープから、ハイレゾ音源を制作しました。ザ・ピーナッツの録音に携わったエンジニアにも話を伺い、当時の録音環境を考えて、今の技術なら、どのように録音できるのかを想像しつつ、マスターテープの音を聴きながら、機材を調整して音を補正し、元の状態に近づけていきます。当時は、一発録りが多く、歌い、演奏する方も、録音する方も、緊張感のある中で録音していたと思います。

ハイレゾ化には、アーティストたちの歌や演奏を、より良い音で後世に残すという意味もあります。アーティストの歌や演奏を残す唯一のマスターテープ。録音された音が、今でも再生できるのは、先輩方が、しっかりと保存、管理していたお蔭ですね。



協力:キングレコード株式会社、株式会社キング関口台スタジオ

Number:020

Master Tape